

神経内科に通院・入院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療時のCTと診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 球脊髄性筋萎縮症患者における胸部CT上での女性化乳房診断基準策定のための後ろ向き研究

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院・所属 神経内科 職名 助教 氏名 飯田 慎

《研究の目的》 女性化乳房を視覚的にとらえるためにCTで評価を行い、基準を作ることを目的とした後ろ向き研究である。アンドロゲン不全を伴う球脊髄性筋萎縮症患者、筋萎縮性側索硬化症患者、重症筋無力症患者を対象に比較検討を行う。

《研究期間》 研究許可日～2024年09月30日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

2000年4月1日から2020年12月末日までに関西医科大学附属病院並びに関西医科大学総合医療センター脳神経内科において、球脊髄性筋萎縮症、筋萎縮性側索硬化症と診断された患者、重症筋無力症患者で胸部CTを撮影された患者を対象とする。

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：研究対象者背景（年齢、性別、身長、体重、初発年齢、既往歴、診察所見、治療内容）、血液所見、胸部CT検査、遺伝子診断結果（アンドロゲンレセプター遺伝子におけるCAGのリピート数）

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

\*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 脳神経内科氏名 飯田慎

〒573-1191 枚方市新町2丁目3番1号

TEL：072-804-0101（PHS：57703）